

福井県公安委員会 開催概要

令和4年12月1日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 特別養護老人ホームにおける殺人未遂事件の検挙

県警察から、本年9月21日に発生した特別養護老人ホームにおける殺人未遂事件の検挙について報告があった。

委員から、「社会的反響の大きな凶悪事件を早期に検挙解決されたことは、県民の安全・安心に繋がったと思う。高齢者施設においては、事案発生時に迅速に警察へ通報していただきたいと思う。」との発言があった。

委員から、「全国で同様の事件が発生している中、福井県でも発生したことが非常に残念に思う。凶悪事件の早期解決や高い検挙率は、犯罪の抑止に繋がるものである。今後も福井県警の捜査力を発揮して、事件捜査に臨んでいただきたい。」との発言があった。

委員から、「警察本部、福井警察署、機動捜査隊の連携した迅速・的確な捜査がスピード逮捕に繋がったと思う。『犯罪はすぐに捕まる』ということを知らしめることができたと思う。」との発言があった。

(2) 可搬式速度違反自動取締装置による生活道路等での速度取締りの推進

県警察から、令和2年に導入した可搬式速度違反自動取締装置による生活道路等での速度取締りの推進について報告があった。

委員から、「可搬式速度違反自動取締装置は、生活道路において速度違反の抑止につながるものである。子どもの悲惨な事故を防ぐためにも、ゾーン30での重点的な交通指導取締りをお願いしたい。」との発言があった。

委員から、「幹線道路ではなく、生活道路で交通指導取締りを実施できることに意味があると思う。子どもや高齢者などの交通弱者の交通事故を防ぐために、実施場所や時間等を考慮して行っていただきたい。」との発言があった。



委員から、「警察官が違反車両を停車させる必要がないため、受傷事故を防ぐことができ良いと思う。今後もデータを分析されて、交通事故のない福井県を実現していただきたい。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 令和4年第16次交通規制（令和4年12月1日告示）

令和4年第16次交通規制について説明を受け、これを決裁した。

(2) 集団行動に関する許可事務専決状況報告

令和4年10月中の集団行動に関する許可事務専決状況について報告を受けた。

(3) 警察職員の援助要求

各都府県公安委員会に対する警察職員の援助要求について説明を受け、これを決裁した。